



高津区地域デザイン会議#02 レポート

～若者目線で脱炭素イベントブースをつくろう～

開催日時

8月25日(木)

18:00-20:30

会場 | 高津区役所 5階第1会議室

対象 | 高津区のまちづくり、脱炭素の取り組みに関心のある若者 20名程度

高津区では2022年3月に「地域デザイン会議#01」を開催し、若い人たちならではの目線で脱炭素アクションのアイデア出しを実施しました。この#02では、#01で生まれた「若者をひきつける脱炭素イベント」をテーマとし、脱炭素イベントへのブース出展を通じた市民の行動変容を促すきっかけづくりについての意見を交換。その後の準備会を経て、11月に開催されたイベント「脱炭素アクションみぞのくち広場」にブース出展を行いました。



高津区地域デザイン会議 #01

2022.3

若者目線の脱炭素アクションを考えよう

ワークショップでアイデア出し



高津区地域デザイン会議 #02

2022.8

若者目線で脱炭素イベントブースをつくろう

プログラム

- はじめに
地域を盛り上げる企業の取り組み紹介
- ワークショップ
脱炭素イベントへのブース出展に向けた意見交換
- まとめ
今後に向けて



準備会など

「脱炭素アクションみぞのくち広場」ブース出展

2022.11

一人ひとりの行動変容を促すきっかけ作りに向けて

JR 武蔵溝ノ口駅の南北自由通路で開催された「脱炭素アクションみぞのくち広場」に出展し、「自転車発電体験」や「ごみ分別クイズ体験」を来場者に楽しんでいただきました。



はじめに

■オープニング、講師紹介〔全体司会・ファシリテーター 飯田貴也さん〕

今日の流れと目標を説明し、あわせて「#01」の振り返りを行い、そこで出たアイデアなどを改めて確認しました。

地域を盛り上げる企業の取り組み紹介

■地域を盛り上げる企業の取組紹介〔講師 株式会社エヌアセット 松田志暢さん〕

高津区で不動産業の立場からまちの活性化に取り組むエヌアセットの松田さんに、会社が目指すもの、区内で実施しているイベントのこと、地域活動を行う上でのヒントなど、様々なお話をいただきました。



グループワーク

■11月のイベント出展を見据えて「何を」「どのように」伝えたいのか、2つのグループに分かれてディスカッション

グループ①

「何を」伝えたいか？

- 普段の活動の成果を見える化する
- 参加してもらって、どんな成果になったかを伝えていく

「どのように」伝えたいか？

- 自転車発電やジャンプすることによってどの程度発電できるのかを体験する
- 振動発電や手回し発電などでスマホを充電してみて、どの程度充電できるのかを体験
- 電力自体の大切さを知る
- 体験型でエネルギーについて考えられる企画にする（区内の事業者との連携ができれば）
- 体験を通じて、みんなで考えるイベントにしていきたい

その他の意見

- 高津区らしさを来場者と一緒に考えられる場
- 環境に配慮したものを前提とした物々交換



グループ②

「何を」伝えたいか？

- テーマは「手触り」にしたい。いかにして脱炭素や環境問題を実感をもって考えてもらえるかを主眼に置きたい
- 気づきを得て、自分ゴト化し、さらに生活の中に持ち帰ってもらう流れを作りたい

「どのように」伝えたいか？

- 川崎市のごみの分別アプリが提供されているので、それを体験し、日常生活につなげる
- どんな素材でできているかを実際に手で触ってみることで一過性に終わらない体験にしたい
- ごみの分別方法をクイズにしてさらにアプリで体験できると身近なテーマで生活の中の実践につながるのでは
- ターゲットは子どもに絞らず、親世代（大人）も参加しながら体験できる内容が良い

その他の意見

- 「こどものため」や「地域のため」といった身近なテーマを切り口にすることで伝わりやすくなるのではないかと
- ごみ拾いアプリを知ってもらうのも面白そう



講評

■発表を受けて 高津区長からのコメント

川崎市は2050年にCO2実質排出量ゼロを目指しています。その中で溝口をショーケースにする取り組みを進めており、高津区役所でも公用車に水素自動車を導入したり、再生可能エネルギーの電力を導入したりしています。ただ、それでもCO2が出ないということにはならず、取り組みを持続しないとダメです。環境問題に取り組むときにはこういったジレンマがあります。

でも、そうだとしたら楽しくやるのが大事。そこには若い人達のしなやかな感性が大切だと考えています。今日初めて高津区に来た方もいますが、1日来たら「みぞのくちの人」の仲間入りで良いと思います。周りの大人も若い人が活動することをとても楽しみにしています。皆が楽しくなるような取り組みを目指してほしいです。

- ワークショップを通じて出た意見をブース出展へつなげていくため、今後のスケジュールや連絡手段について調整を行いました。



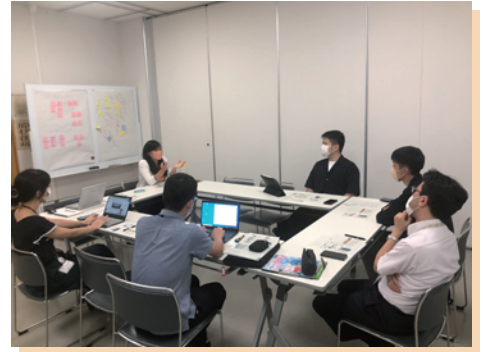
ブース出展に向けた準備会へ

9/7(水)
5

ブース出展に向けた準備会

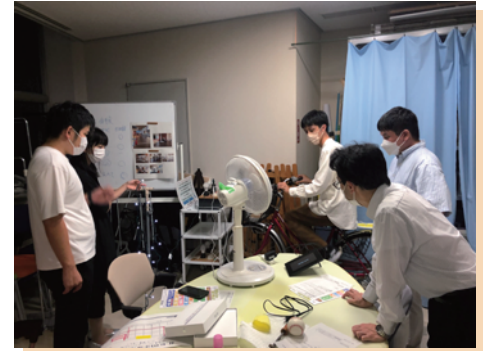
■9月7日(水) 出展に向けたキックオフミーティング

デザイン会議当日のディスカッションで提案された内容をもとに、手法などを具体化するミーティングを行い、出展内容を「発電体験」と「ごみの分別体験」の2パターンとすることに決定しました。



■9月29日(木) 具体的な内容に向けた打合せ

実際に自転車発電機を用いて、どのような発電体験が実施できるかの検証や、ごみの実物を持ち寄り、分別体験の内容について検討しました。



11/12
(土)

「脱炭素アクションみぞのくち広場」ブース出展

JR 武蔵溝ノ口駅の南北自由通路で開催された「脱炭素アクションみぞのくち広場」に出展し、時間をかけて作ってきた企画をイベント来場者に体験いただきました。

「自転車発電体験ブース」では、自転車をこいで発電し、LED 電球やヒーターなど、電力の異なる複数の家電で電気が点くかの体験コーナーを出展。発電することの大変さや、エネルギーの大切について意識するきっかけづくりとしました。



「ごみ分別クイズ体験ブース」では、傘やハンガーなどの 10 種類のごみを用意し、川崎市のごみ分別区分どおりに分別できるかという体験型のクイズコーナーを出展しました。

参加者には地域デザイン会議に参加したメンバーと高津区役所と一緒に制作した、環境問題に関する「うんちくカード」を配布するなど、子どもから年配の方まで幅広い年齢層の方々に参加いただき、にぎわいのあるイベントとなりました。

